

叱るときに大事なことは
叱っている内容が正しいかどうかではなく
自分の言い方が正しいかどうか
いくら正しいことを言っているでも
言い方を間違えていれば
相手は受け入れてくれないもの

しつけのため、そう思って叱っているけれど
子どもはちっとも聞いてくれない
毎日ヘトヘトイライラで
気づいたら、私はいつも怒っている気がする
気づいたら、子どもは私の前で笑っていない気がする
叱るって、ほんとにむずかしい

ネチネチネチネチ

もう何年やってるの？
新人の方がよっぽど使えるよ

何やってんだよ！！

なんでわからないかなー
小学生からやり直した方が
いいんじゃない？



ビクビク



悪いのは自分だとしても
そんな言い方されたら受け入れがたい

叱り上手へのヒントが
ここにある。



OKな叱り方

一貫性がある

言い分を聴く

冷静に淡々と

引きずらない

事前に注意する

子どもが言い分を
言いやすくなる鉄板ワード
「何かあった？」
「何があったの？」
「本当はどうしたかったの？」

親からのお説教は長くても
3分、と決めておいて、
どうやって終わらせるかを
考えておくのも一つの手。

パパの言ってること
わかった？

うん...

あまりわかっていなさそうで
も、とりあえず終わらせる

何度叱っても同じことをくり返す場合
ことが起きてから叱るのではなく、同じ
ことが予想される場面で事前に注意する
という考え方も必要

今日はオモチャは買わないからね

お店で「買って買って！」とダダをこねるので
叱ったことがある時は、次にお店に行くときは
お店に入る前に言うておく

NGな叱り方

気分による

追い込む

強く激しく勢いで

長時間くどくど

事後に叱るだけ

「なんで・・・しないの？」
「なんでわからないの？」

大きな声で怒鳴りつけたり、
人格を否定する言葉、勢いに
任せて暴言や暴力を用いてし
まうと、子どもに与えるのは
恐怖だけ。

一度叱り出すと、それを止める
ことが難しく、いつの間にか、
何に怒っているのかわからなく
なっていることも。

よくある延々と続く無限ループ

親「お母さん何回も言ってるよね？」

お母さんの言っていることわからないの？」

子「...わかってる」

親「わかってたら何で繰り返すの！それおかしいでしょ！」

くどくどくどくどくどくどくどくどく



このリーフレットの使い方

重要！

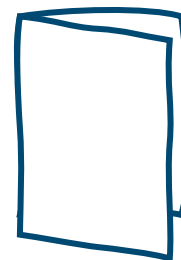
印刷方法

両面印刷し、**真ん中で折って**、ミニリーフレットっぽくしてください。

(真ん中で折って使うことを想定して内容を構成しています)

両面印刷をする際には「**短辺を綴じる**」を選択して印刷してください。

そうしないと、表面と裏面で上下反対に印刷されてしまいます。



折らないで渡すと
内容がわかりにくくなりま
す。

印刷はカラー・モノクロのど
ちらでも対応していますが、
断然カラー刷りがお勧め。

どう使うの？

保護者の方との面接の中で「**叱り方についてはこういうポイントに気を付けると良いみたいですよ**」と
言って渡して、一緒に読み合わせをしながら説明したり、面接を終わる時に「**お子さんへの関わりの
参考に、お時間があったらお読み下さい**」と言って渡したりしてください。

